



立秋を迎え、ようやく夏の暑さの折り返し地点にきました。雲の変化や草花の色味などで、自然の中に少しずつ秋の気配を感じられることと思います。

日中は、まだ暑い日が続いています。水分補給をし、休息を十分に取るなどして体調管理に気をつけていきましょう。

ヘルパンギーナ



症状

夏によくかかる、ウイルス性の夏風邪の一種です。喉の痛みを伴う、39℃以上の高熱が2～4日間続きます。喉の奥が赤くなり、小さな水疱や潰瘍が見られるのがこの病気の特徴です。下痢や嘔吐の症状が出ることもあります。

家庭での処置

高熱が出るため、脱水症状や熱性けいれんを起こすこともあります。熱性けいれんの既往がなければ解熱剤で一時的に熱を下げてよいでしょう。水分補給をしっかりと行うことも大切です。嘔吐が見られたり、食欲が著しく低下しているようなら、医療機関を速やかに受診しましょう。感染力はそれほど強くなく、1～4日で熱は治まります。

ヘルパンギーナにかかったら……

まず水分補給！

ヘルパンギーナは、突然の発熱と、のどの奥に水ぼうがができる病気。のどの痛みが強いので、ミルクや離乳食を嫌がる場合があります。こまめに水分補給をして脱水に注意してください。

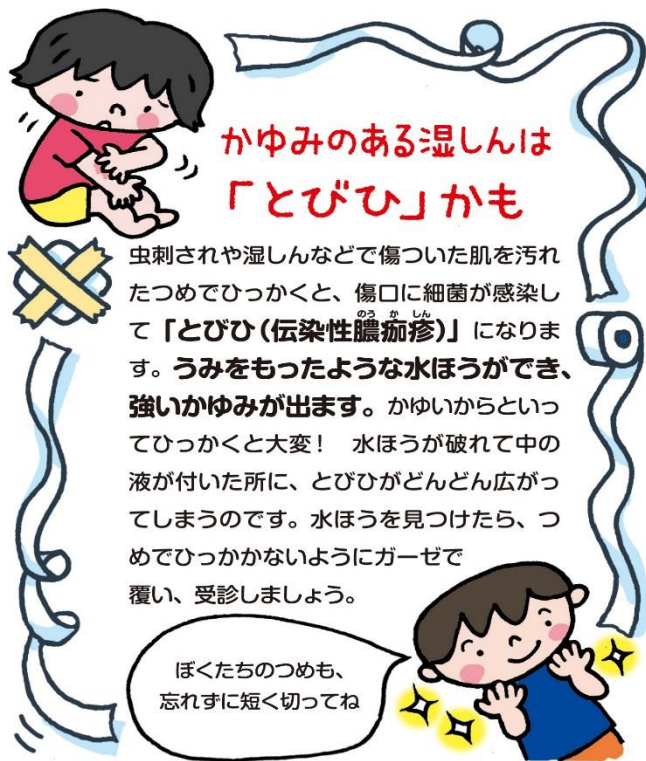
水分はスプーンでひと口ずつ

コップやストローを嫌がる時は、スプーンで一さじずつあげると、飲みやすくなります。

離乳食は一段階前のものを

柔らかく煮て、のどごしのよいものをあげましょう。一段階前の離乳食にすると食べやすくなります。

痛みが強くて、水分をまったく飲めないときは病院を受診しましょう。



かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがで、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変！水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうがを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ほくたちのつめも、忘れずに短く切ってね



予約受付 電話：0282-86-5505 内線：5955

月～金曜日 7時15分～18時00分

ご利用は申し込み順になります。

まずは、お問い合わせください。

獨協医科大学病院 病児保育室にじいろキッズ



7月利用状況	
病児利用件数	13件
キャンセル	9件